

学校文化 を創る



No.58 山口県熊毛郡平生町立平生中学校
「ひらお」を愛し、
心豊かに生き抜いていく生徒の育成

山口県平生町

■ 1 はじめに

平生中学校（令和3年4月生徒数227名）は、山口県の南東部、室津半島の西に位置する、平生町にあるただ一つの中学校です。

校訓「自主 勤労 親和」の下、学校教育目標として、「『ひらお』を愛し、心豊かに生き抜いていく生徒の育成」を掲げています。「『ひらお』を愛す」とは、単にふるさと『平生』を愛することだけを意味するものではありません。人にはそれぞれ大切な家族があり、住んでいるまちがあり、互いに助け合いながら生活しています。子供たちには、家族や地域の中で大切に育てられていることに感謝するとともに、周囲の人のために役立ち、喜んでもらうには何ができるかを考え行動してほしいという願いをこの目標には込めています。

さらに、世界中の人々にも、言語や生活習慣等は異なれど、同様に大切な家族やふるさとがあり、その中で一人一人、かけがえのない存在として生きています。ふるさとを愛す

ということとは、自分自身も含め、世界中の全ての人々を尊重し合うことにつながるという視点も含まれます。

これから先、子供たちには、ますますグローバル化が進化した社会を生き抜いていく力が求められます。こうした力は、身近なふるさとを愛することから育まれていくものと考え、様々な教育実践に取り組んでいます。

■ 2 地域との交流の中で さらなる成長を

山口県では、県内全ての公立小・中学校にコミュニティ・スクールが導入され、社会総がかりで子供たちの学びや育ちを見守り、支援する、「やまぐち型地域連携教育」を推進しています。

本校も、平成24年度にコミュニティ・スクールを導入していますが、それ以前から、地域の多大な支援や協力を得て、地域と密着した特色ある教育活動を展開しています。

その具体例をいくつかご紹介します。

【ふるさと体験学習】

地域の方々に講師を依頼し、ふるさとに由来する講座（もちつき、そば打ち、和太鼓、水産加工など約20講座）を開設し、全校生徒がいずれかの講座を受講します。



ふるさと体験学習（もちつき講座）

【ボランティア活動】

地域の清掃作業、敬老会の運営スタッフ、スポーツ・文化行事、募金活動など、様々なボランティア活動に参加しています。

【地域あいさつ運動】

毎月1回、校門前で地域の方々があいさつ運動と安全の見守りをさせていただきます。

【キャリア教育講演会】

本校出身で様々な分野で活躍されている方を講師に招いて講演会を行い、自己の生き方や将来への意識を高めています。

【育児学級体験・乳幼児とのふれあい体験】

3年生が、町保健センター主催の育児学級に参加させていただき、乳幼児とその保護者とのふれあいを通じて、命の尊さなどについて学習を深めています。また、家庭科の学習の中で、幼稚園や保育園を訪問し、幼児との交流も行います。

【職場体験活動】

町内や近隣市町の事業所に依頼して、2年生がチャレンジワーク（職場体験活動）を行

います。1事業所に2名程度がお世話になり、体験を通じて、勤労の意義や尊さを学びます。

【ひらお 手伝い隊】

1年生が、高齢者の方々のお宅を訪問し、清掃や除草、電球交換などの手伝いをします。



ひらお 手伝い隊

■ 3 おわりに

学校生活は教科等の授業が中心ですが、教室で学んだことが実生活や自己の将来にどうつながるのかを実感することが大切であり、それは学習意欲の高まりや学力向上を促すものと考えます。様々な人々とのふれあいや関わりは、このような視点からも貴重な機会になると確信しています。

さらに、生徒たちは、地域の温かさや期待を感じながら、多様な学びを深めるとともに豊かな心も育まれ、校内には、独特の和やかな雰囲気や活気が感じられます。生徒会活動も活発で、自主的・主体的な取組やボランティア活動等を積極的に展開しています。

今後とも、「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かしつつ、従来の常識にとらわれない特色ある学校スタイルを求め、教育活動の質を一層高めていきたいと思ひます。

（文責 校長 藤友秀樹）